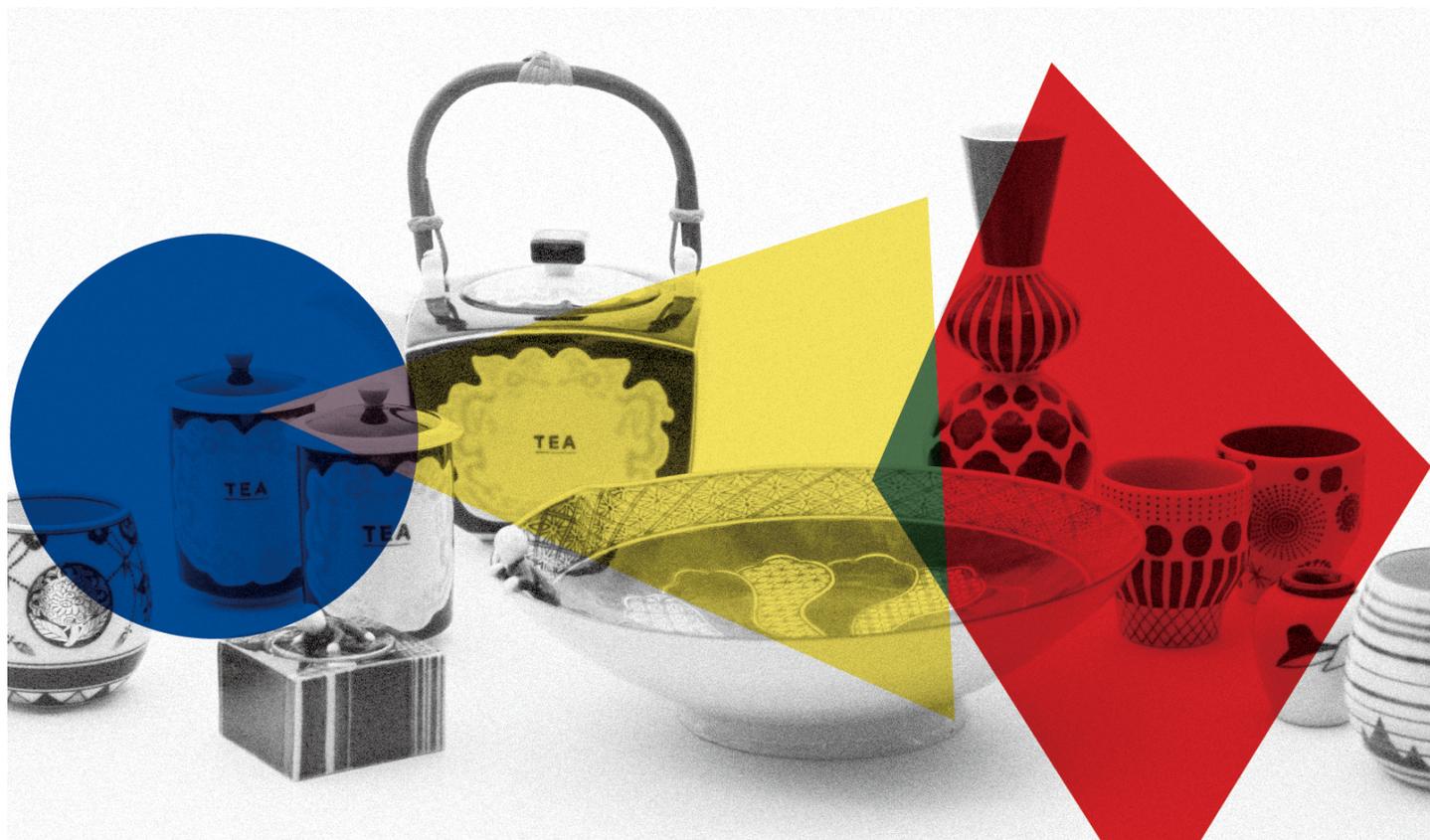


上出長右衛門窯「九谷焼コネクション」



KUTANI CONNEXION
2015/3/4/wed. - 15/sun.

Shibuya Hikarie

タイトル 上出長右衛門窯「九谷焼コネクション」

会期 2015年3月4日(水) - 3月15日(日)

時間 11:00-20:00 (最終日-18:00)

会場 渋谷ヒカリエ 8階 8/CUBE1,2,3

〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ 8F

TEL 03-5468-5892(渋谷ヒカリエインフォメーション)/03-6418-4718(8/運営事務局 月-金 10:00-18:00)

この度、渋谷ヒカリエ8階の8/CUBE1,2,3にて、上出長右衛門窯「九谷焼コネクション」を開催致します。

石川の地で135年余の歴史を持つ上出長右衛門窯は、卓越した技術を有する職人の手による磁器の生成から絵付までを一貫して制作する九谷焼の窯元です。六代目にあたる上出恵悟は、これからの窯の在り方を模索しながら、受け継がれた伝統的な作品を踏襲するだけでなく、現代だからこそ出来る試みを重ね、私たちに新鮮な九谷焼との出会いを提供しています。昨年は九谷焼の原点に立ち戻った薪窯での焼造や、今年2月にはパリで個展を開催し、その技術とデザインはフランスでも賞賛されました。

本展では上出恵悟が携わる上出長右衛門窯の様々な活動と、作家としての自身の作品をセクション毎に解り易く配置し、上出長右衛門窯の全貌を理解出来る展示に致します。この展示は2010年に青山スパイラル(東京/青山)にて行われた「九谷焼コネクション」からアップデートされたもので、その後の上出長右衛門窯の取り組みを可視化するものとなるでしょう。

是非、この機会にご高覧下さいませ。

リリースのお問い合わせ先 Yoshimi Arts

大阪府大阪市西区江戸堀1-8-24 若狭ビル3F TEL.06-6443-0080 E-MAIL info@yoshimiarts.com

上出長右衛門窯

1789年、初代上出長右衛門によって石川県能美郡寺井村（現石川県能美市寺井町）に創業。以来135年、5代に亘り割烹食器の窯元として多くの日本料理店の為の器を製造する。職人による繊細な手仕事にこだわり、轆轤挽きの素地と深い発色の染付、そしてガラス質で色鮮やかな九谷の色絵を特徴とする。伝統的な仕事の中に現代性を感じさせるデザインを取り入れ、ハイメ・アジョンとの制作活動や、美術館やアートフェアでの発表等、近年活動の幅を広げている。



左 上出長右衛門窯+丸若屋 髑髏 お菓子壺 花詰 (参考画像) 中央上 平角盒子 染付楼閣山水文 右上 把手付徳利 赤絵、把手付盃 赤絵
中央下 一閑入盃 染付、犬盃 赤絵 右下 湯呑 笛吹、湯呑 笛吹 (DJ)

九谷焼窯元 上出長右衛門窯 かみでちょうえもんがま

明治十二年 石川県能美市に九谷焼問屋として創業

明治三十年 九谷焼製造を開始する

昭和十六年 本窯を導入、この頃より「上出長右衛門窯」と号す。

昭和二十七年 窯業協会紙に工芸博士小沢卯三郎先生と共同研究の「九谷焼杯土の基礎研究」と題し論文を発表する

昭和四十四年 明治神宮御依頼による「花瓶」を献納の栄を賜る

昭和四十六年 朝鮮陶磁の研究に訪朝する

昭和四十七年 創造美術会陶芸部に推挙される

昭和四十八年 全国現代茶陶展に委嘱出品する

昭和四十九年 東大名誉教授故三上次男先生を講師にヨーロッパ陶磁研修に八カ国を廻る

昭和五十一年 全国煎茶道大会に委嘱出品する

昭和五十五年 中国景德鎮に於いて中国陶器の研究をする

昭和五十八年 昭和天皇御来県の際、御使用の御器制作の栄を賜る

平成二年 石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会理事長に推挙される

平成五年 伝統的工芸品産業の振興への功績を讃えられ通商産業大臣表彰を受ける

平成八年 四代目、藍綬褒章を受く

平成十年 四代目、永年の功績により寺井町より表彰される

平成十二年 沖繩サミットの際、首脳晩餐会の器に使用される

平成十五年 四代目、勲五等雙光旭日章を受く

上出恵悟

1981年石川県生まれ、2006年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。実家である九谷焼窯元・上出長右衛門窯でデザインや企画に従事する傍ら作家としても活動し、個展やアートフェアで「甘蕉」「鶏卵」「栄螺」などの作品を発表しています。



左 栄螺 硯海の貝 (参考画像) 右 甘蕉 色絵経文文 (参考画像)

上出恵悟 かみで けいご

1981 石川県に生まれる

2006 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻 卒業

個展

2014 「硯海の貝」(Yoshimi Arts/大阪)

2013 「楽園創造(パラダイス)ー芸術と日常の新地平ーvol.3 上出恵悟」(gallery αM/東京)

「游谷」(Yoshimi Arts/大阪)

2012 「甘蕉」(pARa:siTe/石川)

2011 「幽谷」(Yoshimi Arts/大阪)

2009 「美術と工芸」(桜華書林/長野)

2008 「様式」(高木鞆商店/石川)

2007 「Para:sideB」(pARa:si Te/石川)

2007 「Para:sideA」(pARa:si Te/石川)

グループ展

2014 「"Material and Form" in a digital age」(Yoshimi Arts/大阪)

2013 「九谷我谷」(G-WING'S gallery/金沢、2014 艸居/京都)

「伝統を更新する「承」」(銀座・和光/東京)

2012 「Primitive [in order](秩序の中の原初)」(Yoshimi Arts/大阪)

2011 「Insight "Repetition/反復"」(ART OSAKA - Yoshimi Arts/ホテルグラヴィア大阪/大阪)

2010 「BASARA 展」(スパイラルガーデン/東京)

「第1回金沢・世界工芸トリエンナーレ」(金沢21世紀美術館/金沢)

2009 「医学と芸術」(森美術館/東京)

「植物のうつわ」(G-WING'S ギャラリー/石川)

「Nowhere but Hayama Opening Exhibition」(Nowhere but Hayama/神奈川)

2008 「桐生再演 14」(桐生森芳工場/群馬)

「ハコ展」(pARa:siTe/石川)

2007 「桐生再演 13」(桐生森芳工場/群馬)

「Montblanc Young Artist Patronage in Japan」(モンブラン銀座本店/東京)

ハイメ・アジョン×上出長右衛門窯

スペインのハイメ・アジョンにデザインを依頼したシリーズ。丸若屋のプロデュースのもと、2010年『DESIGNTIDETOKY O2010』で発表。上出長右衛門窯の特徴のひとつである染付と、手描きのポテンシャルを最大限に活かした製品は、新しい時代の伝統工芸とデザイナーの形として話題をさらいました。2012年にはフォルムを際立たせたシリーズ「FORMA CHOEMON」をミラノサローネ『SPAZIO HAYON』で発表。外部にデザインを依頼した初めての製品として窯の歴史に刻まれたシリーズ。



左 ハイメ・アジョン 右 醤油さし(受皿付) 鳥型 花

ハイメ・アジョン Jaime Hayon

アーティスト・デザイナーとして活躍するハイメ・アジョンは、1974年にマドリッドで生まれました。

10代の頃は、スケートボードやグラフィティ・アートに熱中し、彼独特の大胆で個性的なスタイルを確立しました。その後、工業デザインをマドリッドとパリで学び、1997年に「ベネトン」のコミュニケーション・リサーチ・センターである、「ファブリカ」に参画。ベネトンの広告でも有名な写真家であり、イメージメーカーでもあるオリビエロ・トスカニ氏らと共に働きました。すぐに、生徒からデザイン部門を統括するトップに抜擢され、店舗からレストラン、展覧会やグラフィックなど、多岐に渡るプロジェクトの指揮を執りました。

8年後、デザイナーズトイや陶磁器、家具のコレクションの展覧会をロンドンのデヴィット・ギル・ギャラリーで開催し、サーカスの影響を受けたような彼の世界観や、「地中海のデジタル・バロック」と呼ばれる創造性が大きく開花しました。また、この展覧会はフランクフルト、バルセロナ、パリ、クアラルンプールでも開催され、好評を博しました。これらのコレクションをきっかけに、アート、デザイン、工芸など、様々な分野においてボーダーレスに活躍するクリエイターとして、ハイメ・アジョンの名前は広く知られることになりました。

その後、「アート・キテクト社」からバスルームコレクションを、「エスタブリッシュド&サンズ」、「BD バルセロナ・デザイン」、「モーイ」から家具を、「メタルアルテ」、「スワロフスキー」から照明を、「バーンハート・デザイン」からテキスタイルを、「ハイパー・エドシク」からシャンパンバスケットを、「ガイア&ジーノ」からは花瓶を、「ポーザ・チェラミケ」からはオブジェを、「ピザツァ」からはタイル等を発表しています。

代表的なプロジェクトとしては、「バカラ」から壺や照明を発表し、有名なクリスタルブランドに陶器やプラスチックの素材をミックスするという画期的な試みを行いました。また、2006年から現在もスペインの磁器ブランド、「リヤドロ」のアートアドバイザーを務めており、自身のコレクション「ザ・ファンタジー」を発表すると共に、ブランドのアートディレクターとして活動しています。

画像をご用意致しておりますのでお申し付け下さいませ。掲載の際にはご一報下さいます様、お願い申し上げます。

Yoshimi Arts

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-8-24 若狭ビル 3F

TEL 06-6443-0080 E-MAIL info@yoshimiarts.com URL <http://www.yos>

[himiarts.com](http://www.yoshimiarts.com)